

要小だより

第4号

要小 学校 発行
発行責任者 小島 正

平25. 5. 31

要小のめざす児童

思いやりのある子
集中して学ぶ子

元気な返事や挨拶のできる子

全学級でロープジャンプXに挑戦！

5月29日（水）の業間運動の時間に、全校児童で「ロープジャンプX」に挑戦しました。この行事は、「行方市チャレンジデー2013」に学校として参加したものです。参加した種目は、長縄跳びです。昨年は縦割り班ごとに挑戦しましたが、今年度は学級ごとに挑戦しました。陸上記録会があったため、練習する時間はそれほど長くとれませんでした。また、初めて挑戦した1年生は、最初とても苦戦していました。しかし、練習を続けていくうちに、だんだん上手に跳べるようになってきました。

長縄跳びでは、縄を回す人の回し方がとても重要です。また、縄を回すのはとても重労働なので、中には腕がパンパンになっている人や腰や足が筋肉痛になっている人もいました。低学年は担任の先生が縄を回していましたが、担任の先生もきつそうでした。

チャレンジデー当日の朝、高学年の人たちが校庭で朝練を始めました。すると、それを見ていた中学年や低学年の人たちも練習を始め、校庭で全校児童が練習を始めました。その様子を見ていて、やはり学校を引っ張るのは、高学年だと思いました。長縄跳びは、人数が多いと回数を多く跳ぶのは大変なので、男女に分かれたり、2つのグループに分かれた学年もありました。得点は、人数×回数で決まります。大会の結果は、次の通りでした。

1年生 8人×11回＝88点
3年生 18人×9回＝162点
5年生 14人×36回＝504点

2年生 11人×20回＝220点
4年生 10人×12回＝120点
6年生男子 11人×24回＝264点
6年生女子 11人×25回＝275点

ロープジャンプXの当日は、練習成果を発揮できた学年、発揮できなかった学年と結果は様々でしたが、担任を含め学級が1つにまとまる良い機会となりました。

